

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 19 日 (2007.7.19)

【公開番号】特開 2005-352571(P2005-352571A)
 【公開日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-050
 【出願番号】特願 2004-169963(P2004-169963)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

G 0 1 N 21/27 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 T 3/00 1 0 0

G 0 1 N 21/27 A

G 0 1 N 33/48 M

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 6 月 5 日 (2007.6.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 1 7 】

なお、本実施形態において、撮像対象の試料は、図 2 に示すような、ヘマトキシリンとエオジンで染色された前立腺の病理標本である。同図において、概略同心状の構造は腺管であり、その中央を占める物体は腺管内部の腔（腺管内腔、或いは単に腺腔）である。なお、ヘマトキシリン・エオジン染色は、病理標本の染色手法の中で最も広汎に使用されており、容易且つ安価に実施可能である。